

平成28年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成28年11月1日（火）

（夜の部）午後6時30分～午後8時00分

区役所 別館6階A会議室

- 1 開会
- 2 講師紹介 広報課長
- 3 テーマ
「2020年に向けた中央区の取組」（オリンピック・パラリンピック調整担当課長）
- 4 意見・質問

意見 近々、晴海の近くに引っ越す予定だが、選手村跡地に大きな街ができ、1万2000人もの人が住み始めると、交通などのインフラが追いつくか心配になる。

オリンピック・パラリンピック調整担当課長（以下「課長」という。） 新しい街には、BRTが定時性・速達性をもって運行されることが決まっている。停留所や詳細なルートは今後1～2年以内に示されるだろう。また、地下鉄の新線についても、区から都・国に働きかけ、国の計画に方向性が示されたところだ。ただし、開業時期は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）後すぐには難しく、先の話になると思う。

質問 選手村跡地にこれだけ大きな街ができると、安心安全に暮らすための施設が必要になる。例えば警察署や消防署はできるのか。またスーパーマーケットなど、日常生活に密着した民間施設ができ、街もにぎわうのだろうか。

課長 月島警察署が晴海に移転済みであり、現在、朝潮運河沿いにある臨港消防署も選手村跡地の先端部分に移転する予定だ。またスーパーマーケットも入る予定があり、街の真ん中を通る大通り沿いには多くの店舗が入り、街のにぎわいを形成するものと考えている。

質問 選手村が区内にできるのは分かったが、実際の競技は行われるのか。

課長 まだ決定ではないが、中央通りのマラソンコースの可能性や、浜町の総合スポーツセンターが大会時のバドミントンの練習会場になるかもしれない。

意見 本日の説明は東京2020大会後のまちづくりの話が中心だったが、やはりスポーツの祭典なのだから、競技そのもののおもしろさをもっと広報して、東京2020大会そのものへ区民が興味を持つようにしてもらいたい。私の周りの人は東京2020大会に興味がなかったり、出てくる話題もネガティブなものが多いから、そう思った次第である。

課長 東京2020大会にはボランティアで参加するとか、前述のとおり、区内に練習会場もできるなど、何らかの形で大会と区民の方が関わりを持てると思う。ただ、セキュリティーの問題から、区民の方が選手と直接接することはできないだろう。そのかわり、例えば練習を見学できるなど、区民が直接、東京2020大会の感動を味わえるような取り組みを区としても都や組織委員会などに働きかけていきたい。

質問 東京2020大会の開閉会式や各種競技の観戦について、中央区枠みたいなものはあるのか。

課長 中央区枠はない。全国からもこうした要望があるだろうし、これはできないので、各自でチケットを入手していただきたい。ちなみにリオの場合、オリンピックではチケットも高く、地元の方もなかなか見られなかったそうだが、パラリンピックは安く、多くの地元の方が観戦したと聞く。東京2020大会も同じようなら、皆さんもパラリンピックを盛り上げるため、ぜひ観戦に行っていただきたい。

質問 現在もそうだが、区には外国人観光客が多く、私の知人でお店をやっている人は、彼らのマナーの悪さに困ると同時に、東京2020大会に向けて犯罪が増えないか、心配している。東京2020大会に向け、地域住民が主体となった防犯対策は何か考えているか。

課長 防犯に関しては、現在も組織委員会や警察が鋭意検討していて、今後、具体的内容は区民の皆さんにも周知されると思う。また外国人観光客のマナー向上のためには、一例を挙げると、最近、銀座の商店街で、日本でのマナーのあり方を、海外でも人気のあるアニメのキャラクターを使い、分かりやすく説明したパンフレットを作成するなど、具体的な取り組みが始まったところだ。

質問 ボランティアのすみ分けについては、区が決めることなのか、それとも都なのか分からない。いずれにせよ、はっきりと位置づけて、広報していただきたい。

課長 確かにボランティアのすみ分けについては、まだはっきりとどこがどう決めるのかが決まっていない。区としては、都や組織委員会で決めていただいて、手が及ばないところを区のボランティアに活動していただきたいと考えている。今後、この点をしっかり働きかけていきたい。

意見 防犯、すなわち予防については警察だけに頼っていても、なかなか進まない。区が窃盗などの犯罪の危険性を周知した上、例えば鍵などの防犯グッズを安く提供するように取り組んでいただきたい。

課長 現在も防災危機管理室で、一般家庭向けには二重ロック、商店街向けに防犯カメラの設置などの助成制度があるので、ぜひそちらを利用いただきたい。

意見 多言語対応は確かに進んできているが、区の観光協会が出している案内マッ

プを見ると、外国人観光客に誤解を与えかねない言葉の誤用が目立つ。この点、もっと精査してほしい。

広報課長 最近になって、国と都で多言語対応に関する統一基準ができたので、区もこれにならい、取り組んでいきたい。

意見 BRTが運行するのはいいが、逆に交通渋滞に拍車をかけないか不安だ。不安を持っている区民は多いので、しっかり不安払拭のための広報をしていただきたい。

課長 BRTの運行は都の施策だが、定時性・速達性がないと意味がないし、かつ既存の交通にも影響がないようにしなければいけないと区は考えている。こうした点も区から都に働きかけていきたい。

質問 東京2020大会に向け、区の役割が明確になったら、具体的活動については町会などを通じて指示・依頼が来るのか。

課長 その具体的活動の内容によって、町会を通じて区民の方にお問い合わせすることがあるかもしれないし、別のルートをとることもあるかと思う。

意見 本日、資料をいただいて初めて知ったことが多かった。こういうことをしっかり広報するとともに、区民が東京2020大会に参加し、やり遂げたという思いを持てるような組織体制づくりに努めてほしい。

意見 東京2020大会の物理的なレガシーについては、本日の資料にも載っていてよく分かった。その中で「誰もが住みやすく」という言葉がキーワードだと思うので、そのことを大事にしてほしい。また、精神的レガシーについては、例えばおもてなしという気持ちがその一つになるかと思うが具体的に何をどう担っていくのかを残すことが大事だと思う。また私の場合、前回の東京大会を経験し、スポーツに感動し、その後もスポーツを続けてきた。こういう個人個人の感動を大切にしていきたいと考えている。

課長 前回の東京大会のレガシーには新幹線や首都高といったハードのものが多かったが、今回は、ご意見のように精神的なレガシーを残せるように取り組んでいきたい。

意見 選手村周辺が騒々しいと選手のコンディションが狂ってしまうので、選手村については静かな運営を希望する。

意見 屋外スポーツについては、炎天下での競技になるので、選手の健康管理に十分考慮していただきたい。

質問 資料に、選手村跡地にある公園内に400メートルトラックを残すとあるが、これは公式競技場として残すのか。あるいは練習場として残すのか。

課長 実はこのイメージ図作成後、400メートルトラックを造る計画がなくなった。ただ、公園内にはジョギングコースを造るなどして、東京2020大会のレガシーとして残していきたい。

意見 選手村周辺には多くの観光客がやって来るだろうから、公衆トイレの増設と清掃・美化の推進を図っていただきたい。

課長 公衆トイレの清掃・美化については、区の間組は大変進んでいるほうだと思うし、トイレの改修（和式から洋式など）にも現在、取り組んでいる。

質問 現在、私の住む目の前でマンションの建設が進んでいるが、ここは東京2020大会に向け、外国人観光客を対象に民泊をしようとしているようだ。区内では、こういう準備が進んでいるが、東京2020大会中にどの程度の外国人観光客が来る見込みか。

課長 外国人観光客数の予想は難しい。民泊については、大田区などでは積極的だが、中央区は住んでいる方々の安全面での懸念もあるため、現段階では慎重な態度をとっている。

意見 私は前の東京大会のとき、中学生で、競技を生観戦でき、大変感動した。同じ感動を今の中学生・小学生にも味わってもらいたいので、区の間算で、何とか生観戦の機会を与えていただきたい。

課長 生観戦の機会を与えるのは難しそうだが、せつかく区内に選手村ができるのだから、練習を見学できたり、区内の学校に選手が訪問するなどして、何とか直接触れ合える機会を設けたいと考えている。

意見 本日の資料にあるような大変立派な施設をつくらうとしていたり、東京2020大会に向け、国際交流の推進など、大変立派な施策をやらうとなさっているのだから、区民がこれらのことをもっと知り、活用できるように広報を充実していただきたい。

質問 現在、外国人観光客でコミュニティサイクルを利用して、区内を観光する人が多い上、東京2020大会に向け、民間のレンタルサイクルのサービスも増えていくだろう。となると、区内を走る自転車の数がますます増えるわけだが、残念ながら、区内の道路には自転車専用レーンも少なく、混乱が起きないか心配している。区は、今後、サイクルロードのようなものをつくる考えはあるか。

課長 欧米では自転車文化が根づいているし、自転車は歩道を走らない。しかし、日本ではご承知のとおり、半数以上が歩道を走っていて、歩行者との事故など区も苦慮している。国道・都道に関しての、自転車専用レーンは、部分的にはできると聞いている。区道に関しては狭い道路が多いため、自転車専用レーンは、難しいと思う。ただし、ご指摘のような問題は認識しているので、所管課にも伝え、対応を考えていきたい。

質問 区の河川を利用した水上タクシーの運航は考えているか。水上タクシーがあれば、観光客の利便性もさらに向上すると思うが。

課長 水上交通は天候に左右されやすいので難しい面はあるが、都も区も、東京2020大会を機に水上交通の復活を目指している。朝潮運河沿いにはBRTの発着場と連結した船着場をつくる予定だし、観光船の運航も検討されることと考えている。

質問 選手村跡地にできる大きな街に観光客を誘致するための目玉施設は考えているか。

課長 晴海地区の住民の方と東京2020大会後のまちづくりについて話し合ったとき、新しい街は基本的に生活の場として整備しようという話になった。選手村の跡地に観光用の特別な施設は考えていないが、街の真ん中を通る大通りには、さまざまな店舗ができ、にぎわうだろうし、公園でも年間を通じて、さまざまなイベントを行うことで多くの人々に来ていただければと考えている。

質問 現在、区は盆踊りマップをつくって、地域コミュニティ形成の一助にしようとしているが、この選手村跡地の街でも、盆踊り大会を実施してはどうか。

課長 既存の町会とも話し合いながら実施できると良いと思う。

質問 多くできるマンション群のうちの1棟は、今後、区内の他地区で行われるマンションの建替時の一時居住用に使えないか。

課長 正直に言って、大変難しい。というのは、計画されるマンション群は民間企業がつくるものなので、そこを区が賃借・買取するとなると、多額の税金を投入しなければならない。現在、区は耐震化のための建替助成なども行っているので、こうした制度の活用などを検討していただきたい。

意見 東京2020大会に向け多くの取り組みをするのは分かったが、何をするのか、もう少し明確になるように広報に努めていただきたい。特に税金の使い方については、しっかりと透明性を確保できるように広報していただきたい。

課長 確かに現在のところ、何をやるか、まだ具体的ではないかもしれない。というのは、都や組織委員会、そして区が何をやるかという役割分担がはっきり決まっていないからだ。この点、早急に詰めるように区からも両者に働きかけていきたい。

質問 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会は既に設立されているか。また、区民代表は一般公募されているのか。

課長 区民協議会は既に昨年12月に設置された。構成委員は、いろいろな分野（商工、観光、教育、障害のある方など）の団体の代表の方々や区長、議長などで構成されている。区民代表としては区内の各町会から委員が出ている。区民協議会の様子はホームページに載っているので、ぜひご参考にしていただきたい。

質問 東京2020大会を盛り上げるため、区民や商工業者が東京2020大会のエンブレムなどを使えるようにできないか。

課長 東京2020大会のエンブレムなどの使用に関しては規制が多く、かつ厳し

いので、なかなか気軽に使用できないのは区も残念だと思っている。しかし、10月6日には、東京2020大会の応援プログラムの一環として、新しいマークが発表された。それは大会エンブレムよりも広範に使えるので、今後、そちらのマークの紹介をしていきたい。

質問 英語以外の外国語講座を開く予定はあるか。

課長 今後、徐々にではあるが、中国語・韓国語の講座なども検討していく。

— 了 —